

ベストサービスアワード

サービスの向上のための1年間の取り組みを発表・表彰する研修企画です。

第14回ベストサービスアワード（最終選考会研修）

【ベストサービス賞】

甲田 「甲田ファイトクラブ」



【テーマ】

ライザップ！甲田ファイトクラブ

～説得力のないセラピストがお届けする運動セラピー～【前編】

【動機】

高齢者総合福祉施設甲田は、地域密着型施設が2施設あることで、地域の会合にも定期的に参加しています。そんな中、地域の方々から「甲田町下小原に運動できる場を」とのご意見があることを耳にしました。この声をきっかけに、当施設のリハビリフロア新設、改修を行い、施設のご利用者だけでなく、地域の皆様にも年代問わず自由に気軽にご活用いただける環境を整えました。この活動を「甲田ファイトクラブ」と名づけ、一般的に想像されがちな「老人ホーム」のネガティブなイメージを払拭し、地域に根ざした施設への取り組みを行いたいと考えました。

【取り組み内容】

- ①地域に対し、リハビリフロアの一般開放、運動機器を体験する機会を提供するためのルールや料金体系の設定。
- ②利用者拡大のための、運動機器設置の案内や、甲田ファイトクラブ、サポーター募集のチラシ配布（市内全域）。
- ③体験利用後のリピーターのため、回数券チケットと定期パスポートの導入。
- ④施設ご利用者に継続する楽しみができるようシール帳の作成と施設内通貨「ゼーニ」の支払いを提案。

【授賞式での評価コメント】

どの施設においても「地域とのつながりの強化」という掛け声は以前よりありますが、具体策となると決して簡単ではありません。そのような中、このたびの取り組みは、戦略的に地域を呼び込む方策として確立できており、さらにその運営にあたり地域住民にも参画していただけている点が素晴らしいと評価されました。また、パスポートを活用するなど、運営スタイルも本格志向であり、下小原だけでなく幅広い地域の住民をも自然と巻き込んだ仕組みとなっている点も評価され、ベストサービス賞を受賞することとなりました。